

## お客様へのメッセージ冊子

この冊子は、お客様に向けたセゾン投信のメンバーの思いや、応援いただいている方々のメッセージを集めたものです。ぜひ、ご一読ください。

下記は必ずお読みください。

この資料は、セゾン投信の役職員ならびに関係者の方々から皆様へ、「メッセージ」の発信を目的として作成したものであり、勧誘を目的とした、セゾン投信の提供する「販売用資料」ではありません。また、金融商品取引法に基づく、開示書類でもありません。したがって投資信託の購入、売却、あるいは保有を推奨するものではありません。

情報については、その正確性、信頼性、安全性等について保証するものではありません。過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを推測する指標ではありません。

この情報に関する一切の権利、義務は、その情報提供者（以下「情報提供者」）に帰属します。この情報の内容は、情報提供者の事由により変更されることがあります。

この情報は、閲覧者ご自身のみのものであり、転載、または、第三者への提供は禁止します。

このメッセージに掲載された情報に基づく判断については、閲覧者ご自身の責任の下に行うこととし、万一このメッセージの情報により、閲覧者が損失を被ったとしても、セゾン投信株式会社、ならびにその情報提供者はいかなる損害に対しても一切の責任を負うものではありません。

投資信託の取得を希望される方は、必ず投資信託説明書（交付目論見書）を十分お読みいただき、内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

商号等	: セゾン投信株式会社
金融商品取引業者	: 関東財務局長（金商）第 349 号
加入協会	: 社団法人投資信託協会
お問い合わせ先	: セゾン投信お客様窓口 TEL03-3988-8668 (受付時間 9:00 ~ 17:00 土日祝日、年末年始除く)
	<a href="http://www.saison-am.co.jp">http://www.saison-am.co.jp</a>

## 長期投資家仲間へのメッセージ VOL.10

2008年1月4日

### はじめに

長距離列車「セゾン号」乗客の皆様、明けましておめでとうございます。セゾン投信によって皆様と迎える初めての新年は、最高の気分での年始めとなりました。それは今年の3月15日に運用を開始して以来、実に2万人近くの長期投資家仲間が「セゾン号」にご乗車くださり、自分たちの思いを多くの方々に伝えることが出来た喜びと、永い長期投資の旅の行く先にある将来へのワクワク感を皆様と共有しているという絆を実感しながら迎えられた新しい年だからであります。そしてもうひとつ、「セゾンバンガードグローバルバランスファンド」が日本経済新聞社より2007年度日経優秀製品・サービス賞の最優秀賞を頂戴したということをご報告できることです。皆様の熱いご支援・ご声援の賜物と心より感謝申し上げます。

### 2008年は「環境」元年

2007年は21世紀に入って以来一貫して拡大し続けてきた信用創造による金融市場での余剰マネー吸収の流れにサブプライムショックという巨木の棹が挿さり、世界中に蔓延していたリスク不感症という病状に市場のショック療法が施された年でありました。世界の名だたる金融機関やヘッジファンドなどが生死に係わる重体に陥っているわけですが、このイベント自体はそろそろ落とし処が見え始めたようです。それよりも今回の市場修正作用により世界の投機資金が原油・商品といった実物資産に逃避したことによって、地球環境という極めてグローバルであり人類全体にとって本来普遍的な問題が俄かにクローズアップされたという結果において、大いに重要な年であったと言えるでしょう。

2008年は国際政治の舞台でも北海道洞爺湖サミットで「環境」が最重要テーマとなるように、経済活動においても「環境」が主題として定着する、そして生活上の判断基準もそれが土台となる、まさに地球規模での新しい価値観が台頭し始める歴史的転換の年となるのかもしれない。なぜなら地球温暖化は一国・地域だけでは決して解決しきれない世界共通の問題であり、ヒト・モノ・カネそして情報がボーダレスに移動する21世紀型世界構造を象徴するグローバリゼーション進展の証左となるテーマだからであります。实体经济も「環境」をベースに活動展開されるとすれば、いきおい金融市場もそして運用の世界も「環境」が最も重要な物差しとなり、同時にその価値に対する真贋の選別が問われることになるでしょう。

## 「環境」は地球経済の共通課題

2007 年度の世界経済成長率は 5 % 以上を達成できる見通しです。そしてその成長を牽引しているのは成長率が 2 % を切る日本や米国ではなく BRICS とされる新興大国たちです。21 世紀型経済の成長に新興国が発展し経済規模が拡大して行くことは不可欠な条件であり、成熟先進国との役割分担により地球という人類史上初の単一経済圏が成立していく基本構造であるわけです。そしてこれら新興大国が目指す経済発展のストーリーは現状、工業立国というポリシーで製造業中心の産業育成によるかつて日米欧成熟先進国が辿ったプロセスに倣っています。その結果かつて日本が高度経済成長期における経済発展の代償として公害という副産物に悩まされたように、中国・インドなどでは今モーレツな環境汚染が進行しています。京都議定書を先進国のエゴと切り捨てた新興大国でしたが、いまや中国の工場排煙などで日本に光化学スモッグが発生するといった身近な国際問題も含め、21 世紀に入り本格化した新興大国の高度成長が地球温暖化を助長させ、皮肉にも「環境」を人類全体の問題として顕在化させる結果となっているのです。

大量生産・効率化といった経済発展におけるこれまでの前提から、それらに優先する正義が「環境」であるとする新たな価値観定着への大きな転換期が 2008 年であるとすれば、無論これからの地球経済成長に欠かせない新興国の発展過程において、ひとつの踊り場が訪れることになるかもしれません。「環境」こそは 21 世紀型世界経済構造においてグローバルにすべての国に課される共通課題であり、先進国だけでなく発展途上国も同様にその解決に向けて行動する責務を負わざるを得ないからです。

## 「環境」は日本のチャンス

さて「環境」がグローバルな今後の社会行動規範の正義だとすると、日本経済にとっては千載一遇の成長機会となります。日本は高度成長期以降、環境回復に向け産業をあげて対策に取り組んだ技術・ノウハウの蓄積があります。温暖化に加え原油価格の高騰が代替エネルギーへの投資を一層活発化させると予想されますが、石炭・天然ガスといった代替発電に対して日本は圧倒的な環境対策技術を有しています。そして究極の代替エネルギーとしての原子力発電でも、大型の発電所開発技術は日本にしかありません。欧米はフランスを除き原発開発をやめてしまっており、今後先進国・新興国問わず世界中の膨大な需要に対し日本企業が巨額の受注を抱えるはずで、エネルギー原料の輸送技術でも日本の海運・船舶業界の水準は群を抜いています。自動車では日本の自動車業界が有するハイブリッド技術が現在世界最高の省燃費機能であり、日本車は今後圧倒的に優位に立つでしょう。他にも中国の 8 分の 1 の二酸化炭素排出量で世界最高級の鉄を作る日本の鉄鋼業界や省エネで最先端技術を持つ工作機械など「環境」という高付加価値を前提にすれば日本の製造業は世界で最も有利な位置に立ちます。日本経済復活の芽は「環境」にあると言えることから今年以降大いに楽しみです。そして「環境」が新たな経済的需要を地球規模で生み出すということは、地球経済全体が新たな発展段階に入ったということでもあるでしょう。

## 長期投資家の姿勢

かように「環境」はこれから先、世界経済における大きくて永いテーマになります。それは到底一朝一夕に解決できるものではなく、人類の英知を結集して徐々に時間をかけて改善させていくしか方法がないからです。アル・ゴア氏の「不都合な真実」以降「環境」が大きくクローズアップされる一方で、将来の地球に対して悲観論が喧しくなっています。しかし人類は歴史上常にたゆまぬ生存への欲求から様々な苦難を克服してきました。座して死を待つ悲観主義よりは、歴史的事実を踏まえ明日の進歩を信じて、克服と成長の未来図を見据えるのが長期投資家の姿勢ではないでしょうか。そして長期投資の軸をしっかり据えるということは、地球経済・人類経済という大河にゆったり身をゆだねながら、かつしっかりとその流れを見極めて行くことに他なりません。私たちの長期投資はエンドレスです。それは次世代に良い社会を継承して行くための行動のベースとなり得ます。そして生活者ひとりひとりの思いと行動の集積が変化への適応を可能とし、新しい社会を築く力となるのです。そんな思いを込めて、セゾン投信は皆様と長期投資の歩みを進めていきたいと、年頭気持ちを新たに馳せております。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

セゾン投信株式会社  
代表取締役社長 中野晴啓

## 地殻変動が始まった！

10 ウェルス・アドバイザーズ株式会社 代表取締役  
クラブ・インベストライフ主宰  
岡本 和久

投資信託（投信）はちょっと悲しい歴史を背負っています。いま、そこに地殻変動が起こり始めています。戦後、GHQ の占領政策の一環として「財閥解体」が行なわれました。従来、財閥の間で持ち合っていた株式が放出されたのです。その「受け皿」として期待されたのが、投信でした。投信で個人投資家の資金を導入したのです。時は過ぎ、1990年にバブルが崩壊し、「失われた10年」、90年代に入ります。企業間の持合が解消され、株式の需給が崩れました。ここで再び投信による個人資金の導入が図られました。外資や生保系、銀行系などが投信委託会社として参入し、販売も証券会社に加えて銀行、保険、さらには郵便局にも認められるようになりました。

このような流れの中に投資家の声は反映されていません。個人投資家が本当に投信を必要としているから供給されるのではなく、別の都合で個人の資金が導入されていたに過ぎない。ある意味、投信はこれまで、いつも「売る側」の都合で組成され、販売されていました。投信会社のビジネスは販売ルートを持つ販売会社に商品を売ってもらわないと成り立ちません。その結果、販売をしてくれる企業に頭が上がらなくなる。販売サイドはどうしても、いま、売りやすい、人気のある商品を売りたいがる。そのような投信はえてしてピークで発行され、すぐに下がってしまうことになります。こうして、「投信 = もうからない」という悪いイメージが定着していったのです。

根本的な問題は、投資家と投信会社の間で直接コンタクトがほとんどなかったことにあるのです。だから、投資家の本当のニーズがわからなかった。ようやく1990年代も末になり直販型の投信が登場、その後、本数こそわずかですが高度成長を遂げました。これは、はじめて投資家がファンド・マネジャーの生の声を聞くことができたという意味で画期的な出来事でした。

2007年のセゾン投信の誕生はある意味、投信の歴史に残る出来事だと思います。それは単に直販型であるということのみならず、次の二点にあると思います。まず、セゾンカードという、証券会社とも銀行とも関係のないネットワークをベースにしたビジネスモデルであるということです。

これはネットワークを持っている企業であれば、それを投信販売に活用しようという意味で多くの企業に投信参入の扉を開いたものといえます。

もうひとつの大切なポイントは、この投信がテーマや国・業種など、上がりそうな分野に特化したものではなく、幅広いエクスポージャーを取ることを目指したファンドであるということです。あくまで個人投資家が自分でポートフォリオを組むときの素材を提供するというコンセプトに貫かれています。短期的な値上がりを狙うのではなく、長期的に資産を運用する際の部品を提供するという商品はこれまで日本であまりなかったものです。その意味で、セゾン投信の誕生は個人の生活に投信を浸透させていくことになるだろうと思っています。投信業界はいま、地殻変動を起こしつつあります。ようやく投信が本来の姿に生まれ変わろうとしているのです。新しい年の年頭において、セゾン投信がその旗振り役として活躍してくれることを願ってやみません。

## 執筆者プロフィール

岡本 和久（おかもと かずひさ）

慶應義塾大学経済学部卒。大手証券会社入社、ニューヨーク現地法人、情報部などで証券アナリスト・ストラテジスト業務に従事、1992年、現在のパークレイズ・グローバル・インベスターズ日本法人を設立、2005年まで13年間代表取締役社長として年金運用業務に携わる。2005年5月、個人投資家向け投資セミナーを行う。

I Oウェルス・アドバイザーズ株式会社を設立、代表取締役社長に就任。現在、同社でマンスリー・セミナー、クラブ・インベストライフなどを主催。日本証券投資顧問業協会理事、同協会副会長兼自主規制委員会委員長、投資信託協会理事、日本CFA（Chartered Financial Analyst）協会会長（現在、名誉会長）などを歴任。

主な著書に「30歳からはじめる『品格のあるお金持ち』になれる資産形成マニュアル」「瞑想でつかむ投資の成功法」「100歳までの長期投資\*コア・サテライト戦略のすすめ」など

## セゾン投信の素顔

既に口座の開設をいただいた方含め、我々の取組みに興味や関心を持って見守っていただいている方へのメッセージ発信の場として「セゾン投信の素顔」を掲載しております。

ここでは、セゾン投信で働くメンバーが日々感じたり考えたりしていることを紹介しています。セゾン投信で熱い思いを抱いて働いている私たちの人となりや少しでも感じていただければ幸いです。

「私があなたを選びました」

私はこの詩（曲）が大好きです。子供のことでなく、人生において、嬉しいこと、悲しいこと、楽しいこと、辛いこと、様々な出来事に出くわす度に、私はそっとこの詩を口ずさみます。

私があなたを選びました 鮫島 浩二作

おとうさん、おかあさん、あなたたちのことを、こう、呼ばせてください。

あなたたちが仲睦まじく結び合っている姿を見て、

わたしは地上におりる決心をしました。

きっと、わたしの人生を豊かなものにしてくれると感じたからです。

・・・・・・・・ 省略

おとうさん、おかあさん、今、わたしは思っています。

わたしの選びは正しかった、と。

わたしがあなたたちを選びました。

現在4歳の長男を妊娠中、母親学級ではじめてこの詩に出会いました。お腹をさすりながら、この子はわたしたちを幸せにするために、わたしたちと幸せになるためにおりてきてくれたのだと思って涙が出ました。

そして、子供の成長期のわがままにイライラする毎日の中、またこの詩に出会う機会がありました。こんなに大切な息子に、どうして毎日こんなに怒っているのだらうと反省し、初心に戻る思いでした。

それ以来、不思議なことに、今まであった楽しいことや素敵なことだけでなく、つらい出来事や悲しい出来事も、子供のことでなくすべてにおいて、「神様が私に与えた試練」「私は選ばれたのだ」と思えるようになりました。

そう思うと、自分の人生において、前よりも少しだけ肯定的に受け入れることができるようになった気がします。これからも、いろいろなことに出会ったとき、疲れたとき、くじけたとき、考えさせられたとき、ちょっと立ち止まってこの詩を読み返したいと思います。

・・・わたしを選んでくれてありがとう・・・

遅ればせながら、ご挨拶をさせていただきたいと存じます。セゾン投信に入社して、早4ヶ月が経とうとしております、新入社員でございます。とは言っても、投資家としてブックマンデーも経験している熟年ではございますが・・・。

一人の投資家としては、今まで様々な投資を行ってきまして、2000年前後のネットトレードの走りの折には、専門トレーダーの走りよろしく、某外資ネット証券の口座に億単位の残高もあったときも・・・(懐かしい～苦笑)そのお金を元に日本と海外を行ったりきたりしながら、不動産や海外での会社経営に手を出して、一瞬にして不動産以外の財産を失ったことも・・・苦笑

そんな経験から、投資において、これからは「長期投資」それも、自分ではなく「プロ」が運用している良いものを・・・と考えるようになりました。

プロ運用の長期投資、その一番よいところは、「自分の時間」を有意義に使えること。トレーダーとして一ヶ月に何百万、年間に数千万～もの利益を出していたころは、それこそ、毎日明けても暮れても相場のことしか頭になく、交友関係も投資関連だけ。そんなストイックな生活を送っていたものです・・・苦笑

今後は、仕事はもちろんのこと、家族との時間や自己磨きの時間に費やしたいと思っております。

今このセゾン投信と出会えたことは、神様が導いてくれた結果だと思っています。皆様と一緒にセゾン号に乗り、ゆっくりまわりの景色を眺めながら、長距離の旅を自分自身も楽しむようなものにしたいと思っております。今後とも何卒よろしくお願いいたします。

遠藤 さとみ

「年末年始」

12月になると、年末の風物詩としてベートーヴェンの交響曲第9番(第九)の演奏会が日本各地で開催されます。私もここ3年程は、第九を聞く機会に恵まれコンサートホールに足を運んでいます。そもそもなぜ年末に第九なのでしょう？一説によると、年末に日本で第九が演奏されるようになったのは、戦後まもない頃にオーケストラの収入が少なくて年末年始の生活に困窮する状況を改善するため、演奏への参加メンバーが多い第九を年末に演奏するようになったのがきっかけと言われています。歌詞を理解しているわけではありませんが、「歡喜の歌」として親しまれている第4楽章の大合唱を聞くと、「1年いろいろな事があったけど、ケ・セラ・セラ！素晴らしい1年に感謝」とでも言っているような感じがしておおらかな気持ちで年を越すことができます。

そして年明け。今年のセゾン投信は初営業日に日本経済新聞社から2007年日経優秀製品サービス賞最優秀賞を受賞するという幸運に恵まれました。毎年お正月明けは心身共に足取りが重くなるのですが、今年はこの受賞のおかげで心躍る初出勤となりました。

1年が終わり新しい年が始まりました。本年もよろしく申し上げます。

佐藤 恭子



「大晦日の行事」

大晦日は夕方から年賀状書き（毎年です）。まずは小澤征爾の「第九」を聴きながら。何と  
いってもベートーヴェンの第九は最高です。人生苦あれば楽あり、喜びも悲しみも幾歳月  
といった心地で、来し方行く先に思いが巡ります。そのあとはやっぱり「紅白」。これを見  
通して、日本社会の平和を良くも悪くも噛み締めます。絢香の歌唱力に絶賛！最後の阿久  
悠特集も心に沁みました。昨年は素晴らしい出会いをたくさん戴いた最高の1年でした。

中野 晴啓

## セゾン投信の素顔 新春特別企画

2008年、新しい年の始まりにあたり、セゾン投信社員が当社の去年を振り返り、または今年の抱負を一言コメントにまとめました。

セゾン投信の今年とかけて 干支にちなんで「ねずみ」と解く

その心は、 今年チュー目の主役です  
どちらもたくさん増えませ！

【中野 晴啓】

2007年は「猪突猛進」の1年でした。

投資信託委託会社の認可を1月にうけた後、3月にファンド設定し販売開始。

皆様からご支持を頂き、口座数・ファンド残高とも順調に積みあがってきた1年でした。

2008年は「鼠のように子沢山」な1年に。。。

再投資による複利効果は「多産なイメージ」がネズミ年にぴったりですね。

当社のファンドはネズミのように小さな存在ですが、ネズミ算式に増えていくのが  
楽しみな1年です。

【堀田】

「実るほど頭をたれる稲穂かな」

昨年は純資産100億円突破、顧客も2万件に手が届く勢い、そして本年初は日経優秀  
製品・サービス賞 最優秀賞の受賞とうれしいことが続きました。

「実るほど・・・」というにはおこがましいですが、本年も、多くのお客様に支えられ  
て成長しているんだという謙虚な気持ちを忘れず、頑張っていきたいと思います。

【田中】

「お年玉 全額投資 父母の愛」

我が家の息子のお年玉は毎年全額そのまま息子名義の投資へと消えます。。。

【遠藤】

セカイのマーケットに分散投資します。

キゾンの投信会社にはできないことをやります。

きちンとした手続き処理を行います。

長期の投資運用が一番と確信しています。

あなたの信頼にお応えできるよう努力いたします。

【相馬】

「初」

毎日が初物づくしの緊張と刺激の多かった初年度。

「初」が消える 2008 年は、5 月病ならぬ 2 年目病にならぬよう変わらぬ事をやり続ける  
大切さ・難しさ・喜びを感じる年にしたいです。 【佐藤】

「今年は気持ちも新たに頑張ろう！」

【高山】

「俯瞰」

【瀬下】

「女喜女喜（めきめき）」

立上げてから 1 年足らずの期間にめきめきと純資産が 100 億円を突破し日経優秀製品・  
サービス賞受賞など嬉嬉としたニュースにも恵まれた 2007 年だったので、2008 年も進  
歩していける 1 年にしたいと思います。 【斉藤】

「向上心」

仕事はおごらず、たゆまぬ努力

【市本】

「新鮮」

2007 年を振り返って。色々な出来事と新しい出会いが新鮮だった 2007 年でした。

【工富】

「継続は力なり」

好きな言葉の一つ。飽きっぽい自分を戒める意味と、わが社のファンをそんなふう  
にイメージしてくださるといいかなという期待を込めて。

【水野】

「飛躍」

去年よりも一回り二回りも大きく成長したいです。

【渡辺】

「新しい風」

【今井】

「笑門来福」

2008 年みんなでステキな年にいたしましょう。

【植田】

「捨てる神あれば拾う神あり」

経済不安が続いていますが、そういった状況でも必ずその時代時代に合った対策がある  
ものです。投資もその中の一つで希望の持てるものだと思います。これからも皆様の将  
来に安心と希望を提供し続ける会社に大きく成長していけたらと思います。

【白方】

## セミナー情報

### <セゾン投信主催セミナー>

日時 : 1月23日(水) 19:00~20:30  
テーマ : 「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」についてバンガード・グループ  
駐日代表 加藤 隆氏・セゾン投信社長 中野 晴啓が語る  
講師 : 加藤 隆氏(バンガード・グループ駐日代表)  
中野 晴啓(セゾン投信代表取締役社長)  
場所 : 日本教育会館 8F 第2会議室(住所:東京都千代田区一ツ橋2-6-2)  
費用 : 無料

日時 : 1月24日(木) 19:00~20:00  
テーマ : セゾン・バンガード・グローバルバランスファンドについて  
講師 : 当社運用部社員  
場所 : セゾン投信会議室(住所:豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60・54F)  
費用 : 無料

日時 : 1月28日(月) 19:00~20:00  
テーマ : セゾン投信が見据える長期投資  
講師 : 中野 晴啓(セゾン投信代表取締役社長)  
場所 : セゾン投信会議室(住所:豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60・54F)  
費用 : 無料

上記セミナーの詳細、お申込につきましては当社ホームページから「セミナー情報」をご覧ください。

URL <http://www.saison-am.co.jp>

セミナーに関するお問合せ先

セゾン投信お客様窓口 TEL 03-3988-8668(9:00~17:00 土日祝、年末年始を除く)

### <セゾン投信役職員が講師として参加予定のセミナー>

「横浜悠々人生作ろう会」  
日時 : 1月20日(日) 13:30~16:30  
テーマ : 「10分間スピーチ」聞いて得するお金の話  
講師 位田勝彦氏(ファイナンシャルプランナー)  
セゾン投信の目指す投資信託とは  
講師 中野晴啓(セゾン投信代表取締役社長)  
海外遊学報告  
講師 竹中有男氏  
場所 : 男女共同参画センター横浜(フォーラム)セミナールーム2(住所:横浜市戸塚区上倉田町435-1)  
費用 : 1,000円

お問合わせ・お申込み

参加ご希望の方は下記内容をご記入のうえ下記までe-mail、FAXまたはお電話でお申込ください。

担当: 位田様

E-MAIL: [katu\\_ida@nifty.com](mailto:katu_ida@nifty.com)

FAX: 045-741-9069

1)セミナー名 2)お名前 3)ご連絡先(e-mailまたはお電話番号)

詳しくは当社ホームページから「セミナー情報」をご覧ください。

## ご留意事項

上記各セミナーにおきまして、セゾン投信が設定、運用、販売を行う投資信託の勧誘を行うことがあります。投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動します。その結果、購入時の価額を下回ることもあります。各投資信託のリスク、費用については投資信託説明書（交付目論見書）に詳しく記載されております。ご購入に際しては、必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

---

## よくあるご質問

取引報告書が届かないのですが。

総合取引口座開設時に「取引報告書等の書面の電子交付に関する承諾書」にご捺印いただいておりますと「取引報告書」等は電子交付となり、セゾン投信ネット取引にログインのうえご覧いただくこととなります。電子交付の場合、郵送の時間がかからないため書面よりも早くご覧いただくことができ、保管の手間もかかりません。また、過去の取引報告書の検索も簡単に行なえます。書面での交付をご希望の場合は当社お客様窓口までお問合せください。

セゾン投信ネット取引に「ログイン」できないのですが。

セゾン投信ネット取引に「ログイン」時、口座番号やログインパスワードを一定回数以上間違えますとロックがかかり、「ログイン」できなくなります。ログインパスワードは初回ログイン時にお客様にて「英数字混在の4桁～8桁」に変更いただいております。ロックを解除するには当社お客様窓口までご連絡ください。

積立の登録内容を変更したいのですが。

積立の登録内容は書面にてご変更いただく必要がございます。書面の請求方法は以下をご覧ください。

インターネットでご請求いただく方法

- ・セゾン投信ネット取引にログイン後、「口座管理」「登録情報一覧・書類請求」から変更届をご請求いただけます。
- ・セゾン投信トップページより「ご利用の手引き・各種変更のご案内」「各種変更届（ご住所・出金先口座・定期積立プラン等）や目論見書の請求方法」へお進みください。お客様にて変更届や宛名ラベルを印刷のうえ当社にご送付ください。書類がお客様のお手元に届くまでの期間を早めることができます。

お電話にてご請求いただく方法

- ・当社お客様窓口までご請求ください。

お問合せ先 : セゾン投信お客様窓口 03 - 3988 - 8668 (9:00～17:00 土日祝、年末年始を除く)

---

## セゾン投信からのお知らせ

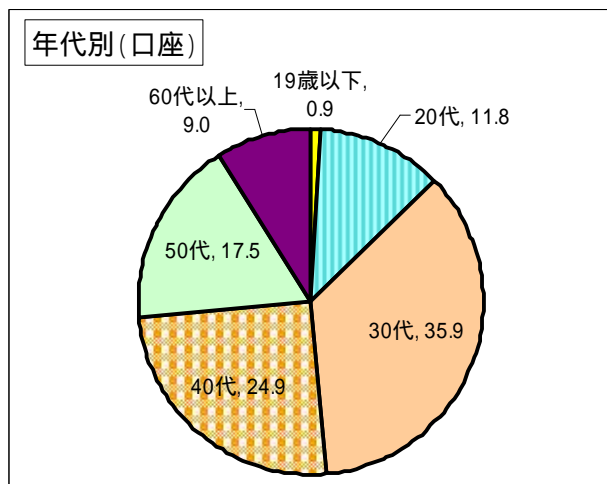
<当社が設定するファンドの第1期決算「運用報告書」について>

「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」「セゾン資産形成の達人ファンド」ともに、第1期の決算が2007年12月10日に行われました。

運用の状況や詳しい決算内容につきまして、各ファンドの「運用報告書」を2008年1月21日に当社ホームページへの掲載、1月下旬に発送を予定しておりますので、ご確認いただきますようお願いいたします。

## セゾン投信 会員数 (2007年12月末日)

19,374 口座



### TOPICS :

あけましておめでとうございます。

昨年は約9ヶ月間の期間にて、19,374名の方に口座を開設いただいております。

昨年に引き続き、本年もよろしくお願い申し上げます。

法人口座データ除く

## 当社のファンドに係るリスクについて

当社の運用、販売するファンド(以下、当ファンド)はファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 当社のファンドに係る費用について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

### <セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド>

#### 申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

#### 解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

#### 保管期間中に間接的にご負担いただく費用

##### 信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.4935%(税抜0.47%)の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年0.77%±0.02%(概算)となります。

##### その他費用

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用(有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む)、監査報酬(消費税含む)、立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことが出来ません。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 当社のファンドに係る費用について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

### < セゾン資産形成の達人ファンド >

#### 申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

#### 解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

#### 保管期間中に間接的にご負担いただく費用

##### 信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.567%（税抜0.54%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年1.3%±0.2%（概算）となります。

##### その他費用

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む）、監査報酬（消費税含む）、立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことが出来ません。

詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。